

事業所名

放課後等デイサービスくるくくる1-2

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

1月

7日

法人（事業所）理念		子どもの療育を通して、未来をはぐくみ、社会に貢献する。					
支援方針		<p>将来社会に出た時に、一人でも生きていく力をつける為に必要な3つの自立ができるような支援を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身辺自立：基本的な生活習慣の確立を目指した支援を行います。挨拶、時間を守る、身の周りの整頓、ルールを守る等を活動を通して学ぶことができるように支援を行います。 ・精神的自立：活動を通して、人とのかかわり方を学ぶための支援を行っています。 ・経済的な自立：活動を通して、お金の使い方を学ぶ支援を行っています。 					
営業時間		9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・意思表示が困難な子どもたちの小さなサインから、心身の異変に気付けるように健康状態の把握をする。 ・手洗い、排泄、食事、睡眠など健康的な生活リズムを身に付けられるように支援する。 ・日常生活動作の獲得及び習慣化ができるように支援する。 ・障害の特性に配慮し、日課の流れや時間をわかりやすく明記する。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びの活動を通して、運動機能、姿勢、バランス感覚、力の強弱、距離感などの発達を促し、怪我をしにくい身体づくりを支援する。 ・折り紙やひも結び、製作活動など、手先を使った活動を通して、細かい作業の感覚を養う。 ・感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整を行う。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や遊びを通して、その場に合った適切な行動を獲得する。 ・学習の時間や活動、遊びを通して、空間、時間、数の概念など認知発達を促す。 ・利用者の気持ちが昂ってしまったときは、支援者と一緒に気持ちを落ち着けられるようにする。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や学習の時間、他者とのコミュニケーションから語彙を増やし、状況に合わせて適切な言葉遣いを考えられるようにする。 ・活動や遊びを通して、他者と関わり、たくさんの言葉に触れられる機会を設ける。他者との関わる上で、相手の気持ちを配慮した言語コミュニケーションができるように支援する。 ・他者の話を落ち着いて聞くことができるようにする。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して、集団生活における必要なルールを獲得し、社会性の向上を図る。他者や集団を意識できるようにする。 ・支援者や友達とのやり取りを経験し、他者との関わり方を知る。 ・自己の特性や性格を理解し、他者理解を深められるようにする。 ・個々に合わせた方法で見通しを立てることで、場面の切り替えや気持ちの折り合いをつける経験ができるように支援する。 					
家族支援		ご家族からの相談に対しての助言、個別相談の実施。			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校等に情報共有。 ・進学についての相談、助言
地域支援・地域連携		各関係機関（小学校・中学校や相談支援事業所等）に様子を共有するなど連携を図る。 ・地域の児童館等に外出を市、地域の方との交流をする。			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・新人研修 ・法定研修（虐待、ハラスメント、感染症予防、BCP）
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節や社会イベントに合わせて、文化や自然に触れるような行事の実施。（水遊び、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、お正月等） ・避難訓練の実施 ・調理活動 					